

CLOUD



市内で最先端の スマート農業がはじまります

篠津地域に広がっていた耕作放棄地が、世界最大級のいちご農園に生まれ変わります。最先端の農業技術を使用したいちご栽培が、白岡市内で展開される予定です。



▲イメージ図



新

たないちご農園は、白岡市内のこれまで耕作放棄地だった場所に開園される予定です。

現在、この土地では土地改良事業が進行中で、農業用の圃場や排水設備などの整備が始まっています。

いちご農園については、(株)サラダボウルが、併設される物流倉庫は、東急不動産(株)が事業を進めていく予定です。

(株)サラダボウルは山梨県中央市などで、人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)を駆使したスマート農業を展開しており、今回の事業では、篠津地区の耕作放棄地、約20haにスマート農業を駆使することで、先進的な技術を活用した効率的ないちご生産が期待されます。

7 月24日(水)にロイヤルパインズホテル浦和で、
(株)サラダボウル 田中 進 代表取締役、東急不
動産(株)西田 恵介 取締役執行役員、白岡市長
藤井 栄一郎が事業発表会を行いました。

事業発表会には、新聞やテレビの記者による取材に加え、
Youtubeでの生配信も行われ、全世界に「白岡市」をPR
しました。

事業発表会では、AIなどを活用した最先端のスマート農
業による大規模農場運営であることや、次世代いちご農場
を中核とした通年生産及び、野菜・果樹などの多品目複合
生産を行うこと、さらに、地域生産者と連携した直売、加
工、飲食などの6次産業化事業を行うなど、脱炭素化社会
の実現だけでなく、地域の賑わいの創出、災害対策、物流
危機の解決などにも貢献する大きな取組みであることが発
表されました。



▲(左から)藤井 栄一郎 白岡市長
(株)サラダボウル 田中 進 代表取締役
東急不動産(株) 西田 恵介 取締役執行役員

白岡市長 藤井 栄一郎 コメント

白 岡市篠津地区は、東京都心から約40km。電車で約40分。
東北道と圏央道のジャンクションがある、都市と田園の魅
力が一つになった素晴らしい所です。

この白岡市を、全国の候補地の中から選んでいただいた株式会社サラ
ダボウルの田中社長、東急不動産株式会社の西田取締役執行役員には、
この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今回、素晴らしい場所に生まれ変わるようになったこの篠津地区に
は、耕作放棄地の解消という長年の課題がございました。私は、市長
になる前の市議会議員時代から、この課題に積極的に取り組んでまい
りました。そして4年前に市長に就任してからは、一貫してこのプロ
ジェクトを応援し、今日に至ったわけでございます。今は、まさに感
無量、心躍り大変ワクワクしているところでございます。

また、プロジェクトの推進に当たり、関係者の皆様には、多大なる
御支援、御協力を賜り、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、我が白岡市は、埼玉県内有数の梨の産地として、全国から高
い評価をいただいているところでございます。これからは、梨ととも
に、県内有数のいちご産地として、日本全国、あるいは全世界に向け
て発信してまいる所存でございます。

いちごといえば何を連想しますか? 「つぶつぶ感」、「ほのかな甘み」
などありますが、やはり情熱的な赤を思い浮かべませんか?白岡市も
いちごの産地として発展し、全国のかたがたから梨の白といちごの
赤、まさに紅白のイメージとして白岡市が連想されるよう、今後もで
きる限りのことをやっていきたいと考えております。



問合せ 農政課農政担当 ☎0480(92)1111 内線246